

# 第51期 中間報告書

2017年4月1日から2017年9月30日まで



—日本のすべての屋根に防災瓦を—

株式会社 鶴 弥

## 経営に関するQ&A

〈経営理念〉

強く美しく、取り扱いはやさしく、  
値打ちも、より安全な、  
屋根材を提供する。



代表取締役社長 鶴見 哲

### ◆鶴弥の現状と今後の課題、その対策についてお聞かせ下さい。

2018年3月期第2四半期累計期間における当社を取り巻く経営環境としましては、国内消費や設備投資などの上昇もあり、国内景気としては緩やかな回復基調となり、国際情勢などの不透明な要素はあるものの、底堅く推移しました。

その一方で、住宅市場においては、持家着工戸数全体としては前年を下回るなど、足元の景況感に反して低い水準に抑制されたことで戸建の住宅市場は厳しさを増してきております。そのような状況において、大手ハウスメーカーでは高所得者向けの商品が投入されるといった、高付加価値品である粘土瓦の需要促進に期待がかかる場面もありましたが、低価格の規格住宅が依然として強い存在感をもっており、粘土瓦の市場環境は厳しいものとなりました。

そのような状況下、当社としましては、この機を企業体質の強化によって他社との差別化を図る契機と捉え、中期経営計画「Try-130」(2014年3月期～2018年3月期)の5年目として、「市場に左右されない業績を作る体制づくり」に邁進してまいりました。

その中でも、消費税増税や東京オリンピック後に予想される住宅市場の反動減に向けて、特に生産体制において、見込み生産方式から受注生産方式への移行を一層進めることで、在庫を抑制し、なおかつ、より効率的で需要動向に柔軟な生産体制を構築することを目指して活動を推し進めました(2頁下グラフ参照)。その結果、工場稼働率を低減したことによる固定費負担の上昇と国際的な原油価格上昇によるエネルギーコストの増加が相まって、厳しい利益水準となりましたが、キャッシュフロー及び自己資本比率は一定水準を堅持いたしました。

なお、陶板壁材「スーパートライWall」につきましては、引き続き安定的な量産体制を構築するための研究開発を継続するとともに、新たに、屋根材への利用を可能とする「スーパートライ美軽(みがる)」を市場投入いたしました。このように、財務体質の改善を図る一方で、研究開発活動等の先行投資は積極的にを行い、引き続き長期的な視点での企業経営に邁進してまいり所存であります。

### ◆鶴弥の社会的責任についてお聞かせ下さい。

企業は、市民としての事業活動を通じて社会との協調のもとで持続的に発展し、同時にそうした事業活動が、企業と社会との相乗的な発展に資するとの考え方から、昨今、特に企業の社会的責任に注目が集まっております。

#### ・企業活動における社会貢献について

当社は、国民生活の基盤である「住まい」に関わる企業として、安心・安全な製品を皆様にお届けし、その結果として、この日本の文化的景観を守り、「住文化」そのものに貢献することが最も重要な社会的責任であると考えております。

#### ・地震・台風への対策について

地震や台風といった災害の多い日本の住宅市場では、住宅用建材においても「防災性能」は共通した課題であります。当社の主力製品「スーパートライ110シリーズ」は過去の災害を教訓に開発した「防災瓦」であり、これまでも各種性能試験や実際の災害でその効果を発揮してまいりました。当社は、今後も継続してこの防災瓦の啓蒙、普及活動を進めることで、災害に強い安心・安全な日本の住文化形成に資することができると思え、「日本のすべての屋根に防災瓦を」をキーワードに、一層の営業活動強化、認知度向上を図ってまいり所存であります。

#### ・環境対策について

粘土瓦製造業は、天然素材の粘土や釉薬を主原料とし、元来自然環境との関係性が深い業種であります。よって、当社は、環境対策を進めることが企業としての重要な社会的責任のひとつであると思え、従来から、生産活動における省エネ推進等の環境負荷の低減を行ってまいりました。

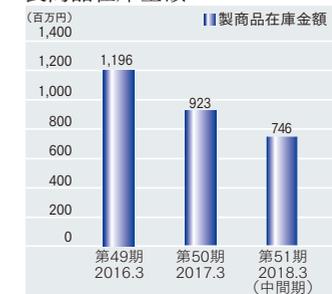
また一方で、前述の「スーパートライ美軽(みがる)」においても、住宅における省エネ化が求められるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)対策として、もともと断熱性の高い素材である粘土瓦の特徴をさらに向上させる取り組みも進めております。

今後も当社は、事業活動そのものの環境負荷の低減を図るとともに、環境面に配慮した製品開発とその普及に努めてまいり所存であります。



スーパートライ美軽(みがる)販売店様向け説明会の様子

### 製商品在庫金額



## トピックス

### 1. 新製品「スーパートライ美軽(みがる)」発売のお知らせ

新製品名：スーパートライ美軽



2015年10月に発売いたしました陶板壁材の中空製造技術と、かねてから開発してまいりました施工技術により、軽量の陶板屋根材「スーパートライ美軽」を発売することとなりました。

当社の主力製品である粘土瓦の耐久性・高級感そのままに、軽量化を実現した屋根材となっており、陶器製屋根材の新たな一歩となる製品です。



陶板を中空構造にすることで、軽量化(28kg/m<sup>2</sup>)を実現。さらにEPSマット下地材と共に空気層を作り、高い断熱性を誇ります。



高強度と柔軟性を兼ね備えたステンレスのパネ鋼で、陶板を野地に固定。高い耐風性能を有する設計です。



11月2日、22日に「スーパートライ美軽」の販売店様向けの製品説明会(製品概要説明、施工説明、陶板屋根製造工場見学)を開催し、多くの方にご来場いただきました。

### 2. 新製品「トライRSワイド袖シリーズ」発売のお知らせ

新製品名：トライRSワイド袖(右・左)、トライRSワイド角(右・左)、トライRSワイド寸長袖(右・左)



2008年(平成20年)8月の発売以来、“雨垂れ軽減袖瓦”としてご好評をいただいているトライRS袖瓦(レインストップ)ですが、この度、より多くのお客様の声を取り入れた改良を施し、「トライRSワイド袖」が新たに誕生することとなりました。



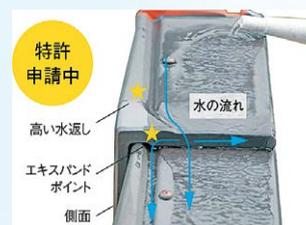
「トライRSワイド袖」



「トライRSワイド角」



「トライRSワイド寸長袖」



高い水返しやエキスパンドポイント(表面張力を切る箇所)などの新設計が、側面への流れ込み防止機能をさらに向上(従来比1/5)させ、かつ裏面斜辺形状が破風への水かかりを軽減する特長を併せ持ちます。

#### その他の特長

- ① 雨伝いをより安定させるためにレインキャッチャーを袖瓦先端まで延長しました。
- ② より扱いやすい製品として、形状の拡大化(様々な下地・納め方に対応)や各パーツに施工簡略化の要素を盛り込み、新築からリフォームまで幅広くお使いいただけます。
- ③ 製品名の「ワイド」には、雨仕舞や扱いやすさを考慮した“形状を拡大”の意味合いと、“機能性・意匠性などの幅が広がる”とした意味合いを込めています。

## 経営成績に関する定性的情報 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

当第2四半期累計期間における国内経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調にあるものの、今後の国内外の政治・経済動向に加えて海外の地政学的リスクといった懸念材料から、先行き不透明感が継続しております。

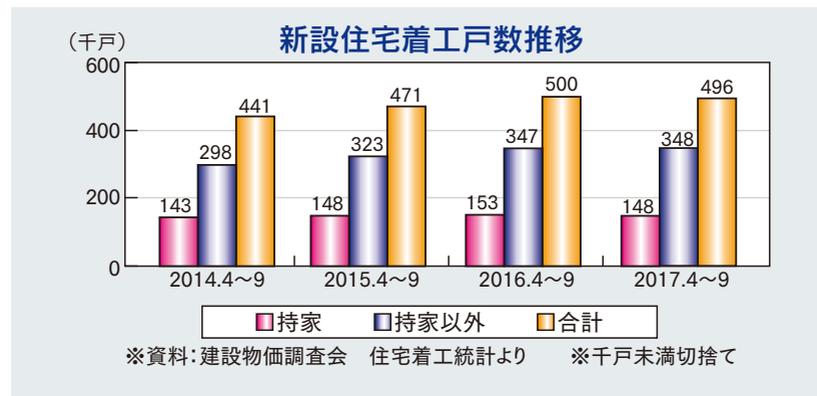
当業界におきましては、引き続き低価格の規格住宅が攻勢を強めている状況に加え、持家着工戸数も前期比減少傾向にあります。また、大手ハウスメーカーでは、高所得者需要に向けた商品を展開する動きが見られるものの、全体の受注状況で前年を割り込むなど、高付加価値品である粘土瓦の需要環境は厳しいものとなっております。

このような経営環境のもと、幅広いニーズに対応するための製品開発を加速させ、平成29年5月に、軽量化された防災洋風瓦であるスパートライ110サンレイシリーズに新色である「ブリティッシュブラウン色」を追加いたしました。また、雨垂れを防止する機能性瓦であるトライRS袖瓦を改良した「トライRSワイド袖シリーズ」、さらに、当社が新たな事業の柱として研究開発を継続しております陶板壁材とともに、新たに屋根材として利用する「スパートライ美軽(みがる)」を、それぞれ同年10月に発売いたしました。

このように研究開発活動を積極的に実施してまいりましたが、市場低迷の影響は避けられず、売上高につきましては4,062百万円となりました。なお、前年同四半期累計期間に、太陽光発電システムの大型案件及び熊本地震による補修需要があったため、売上高の前年同四半期比は13.5%減となりました。

損益面につきましては、原油価格の上昇によるエネルギーコストの増加、売上高の減少に伴う工場稼働率低下によって固定費負担が増加した結果、当第2四半期累計期間における売上原価率は、前年同四半期比3.3ポイント増の74.7%となり、売上総利益は前年同四半期比23.5%減の1,028百万円となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高4,062百万円(前年同四半期比13.5%減)、営業利益37百万円(前年同四半期比88.3%減)、経常利益43百万円(前年同四半期比86.3%減)、四半期純利益25百万円(前年同四半期比88.3%減)の減収減益となりました。



## 財務データ

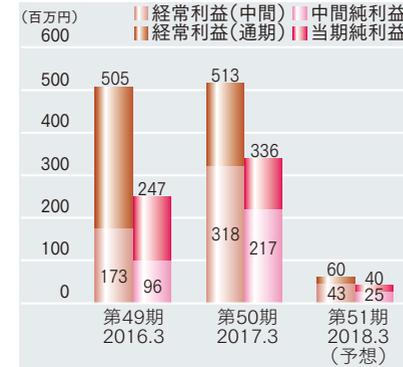
### 売上高



### 1株当たり中間(当期)純利益



### 経常利益/中間(当期)純利益



### 総資産/純資産



### 自己資本当期純利益率(ROE)



### 1株当たり配当金/配当性向



## 四半期貸借対照表

(単位：千円)

期別 科目	前事業年度 (2017年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,748,152	1,750,716
受取手形及び売掛金	1,926,608	2,020,390
商品及び製品	923,061	746,742
仕掛品	46,479	48,943
原材料及び貯蔵品	133,855	120,160
その他	108,291	92,990
貸倒引当金	△6,439	△5,325
流動資産合計	4,880,011	4,774,618
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,336,424	1,296,431
土地	9,113,158	9,113,158
その他(純額)	965,008	890,323
有形固定資産合計	11,414,592	11,299,913
無形固定資産	69,543	68,522
投資その他の資産		
投資有価証券	495,510	558,200
その他	164,338	165,767
貸倒引当金	△2,990	—
投資その他の資産合計	656,858	723,968
固定資産合計	12,140,995	12,092,404
資産合計	17,021,006	16,867,023

(単位：千円)

期別 科目	前事業年度 (2017年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	566,501	532,788
電子記録債務	637,714	771,761
短期借入金	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払法人税等	89,178	47,990
賞与引当金	183,396	173,430
その他	492,893	495,320
流動負債合計	4,369,685	4,421,290
固定負債		
長期借入金	825,000	625,000
退職給付引当金	101,251	114,779
役員退職慰労引当金	298,020	308,813
その他	82,758	89,958
固定負債合計	1,307,029	1,138,551
負債合計	5,676,715	5,559,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	6,022,727	5,990,026
自己株式	△5,813	△53,382
株主資本合計	11,128,240	11,047,969
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	216,051	259,211
評価・換算差額等合計	216,051	259,211
純資産合計	11,344,291	11,307,180
負債純資産合計	17,021,006	16,867,023

## 四半期損益計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	前第2四半期累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上高	4,696,818	4,062,265
売上原価	3,352,493	3,033,886
売上総利益	1,344,324	1,028,379
販売費及び一般管理費	1,022,317	990,612
営業利益	322,007	37,766
営業外収益		
受取利息	26	261
受取配当金	6,091	7,177
売電収入	6,809	6,908
その他	9,896	12,253
営業外収益合計	22,824	26,601
営業外費用		
支払利息	14,918	10,808
手形売却損	700	626
工場休止に伴う諸費用	6,646	5,317
その他	3,611	3,923
営業外費用合計	25,877	20,676
経常利益	318,955	43,690
税引前四半期純利益	318,955	43,690
法人税、住民税及び事業税	101,706	25,641
法人税等調整額	△324	△7,428
法人税等合計	101,382	18,212
四半期純利益	217,572	25,478

## 会社の概要 (2017年9月30日現在)

商 号 株式会社 鶴弥  
T S U R U Y A C O . , L T D .  
本 社 愛知県半田市州の崎町2番地12  
T E L (0569)29-7311(代表)  
設 立 1968年2月  
事 業 内 容 1.粘土瓦の製造および販売  
2.屋根工事の請負および施工  
3.陶板壁材の製造および販売  
4.建築資材の開発および販売  
5.前各号に付帯関連する一切の事業  
資 本 金 21億4,413万円  
従 業 員 数 428名

## 役員 (2017年9月30日現在)

代表取締役社長	鶴 見 哲
常 務 取 締 役	山 内 浩 一
常 務 取 締 役	榎 本 守
取 締 役	三 井 真 司
取 締 役	満 田 勝 己
取 締 役	高 垣 俊 壽
常 勤 監 査 役	稲 田 康 孝
監 査 役	鶴 見 秀 夫
監 査 役	高 須 光

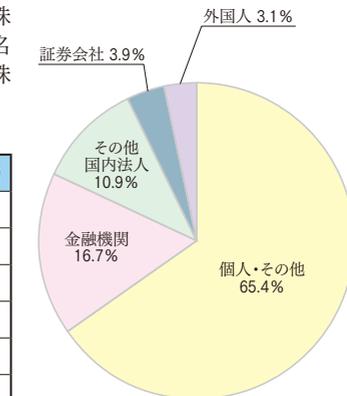
(注1)取締役高垣俊壽氏は、社外取締役  
であります。  
(注2)監査役稲田康孝氏及び鶴見秀夫氏  
は社外監査役であります。

## 株式の状況 (2017年9月30日現在)

### ○株式数及び株主数

発行可能株式総数 …………… 25,000,000株  
発行済株式の総数 …………… 7,767,800株  
単元株式数 …………… 100株  
当中間期末の株主数 …………… 2,476名  
自己株式の保有数 …………… 112,798株

### ○所有者別分布状況



### ○大株主 (上位11名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
鶴 見 哲	1,551	20.2
有限会社トライ	595	7.7
株式会社みずほ銀行	310	4.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	308	4.0
株式会社商工組合中央金庫	308	4.0
遠 山 和 子	232	3.0
鶴 見 綾 子	221	2.8
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	150	1.9
鶴 見 日 出 雄	132	1.7
岡崎信用金庫	132	1.7
細 井 芳 美	132	1.7

(注) 持株比率は、自己株式(112,798株)を控除して計算しております。

## 事業所

本社及び本社工場	〒475-8528	愛知県半田市州の崎町2番地12
西尾工場	〒444-0325	愛知県西尾市楠村町南浜屋敷16番地1
衣浦工場	〒475-0032	愛知県半田市潮干町1番地1
阿久比工場	〒470-2215	愛知県知多郡阿久比町大字矢高字西の台1番地1
北陸支店	〒932-0136	富山県小矢部市平田3102番地
仙台営業所	〒983-0013	宮城県仙台市宮城野区中野五丁目3番地の35

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告掲載方法	当社のホームページに掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
公告のホームページアドレス	<a href="https://www.try110.com">https://www.try110.com</a>
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL (0120) 782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。